

金色有功章(献血協力100回)の受章

このたび、上村栄一さん(上羽出庭)が日本赤十字社金色有功章を受章されました。

これは、献血回数100回を達成された方に対し、日本赤十字社から授与されるものです。

献血者が減少傾向にあるなか、永年にわたり献血にご協力いただき紙上より感謝申し上げます。



町長(左)と上村さん

町民ふれあいスキー・スノーボード教室開催

町民ふれあいスキー・スノーボード教室が2月2日、箕輪スキー場で行われ、子どもから大人まで34人が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、グレンデのコンディションもよく、絶好のスキー・スノーボード日和となりました。



参加された皆さん

参加者全員で準備体操をしたあと、スキー・スノーボードの各コースに分かれて指導を受けました。それぞれのレベルに合わせて技を磨き、白銀のグレンデで思い切りスキーやスノーボードを楽しみました。

また親子だけではなく、参加者同士で親睦を深めることができ、楽しい1日となりました。



指導を受けている様子

小野町の将来を一緒に考えよう ～小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しを行います～

令和元年度第2回小野町地域創生総合戦略推進会議が2月13日、役場で行われました。

この推進会議は、町の重要課題である人口減少対策に取り組むための計画である小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関し意見提案や内容について評価します。

今回の会議では今年度改訂を行う総合戦略について、2060年に町が目指す人口ビジョンやそのために取り組む事業を盛り込んだ計画案の協議がなされました。委員の皆さんからは「晩婚化、晩産化が進む中で、出産・子育てがしやすい環境づくりをどのようにして整備していくか考える必要がある」「子どもが周囲に気兼ねなく元気に遊べる場所や病後児へのサポート」「医療体制の充実が必要」「地域と学校の連携を強化するため地域コーディネーターを設置することが重要」「農業後継者の確保のため、町外からの就農希望者に農機具や農地を貸し出すなどして世襲に限らない方法を検討する必要がある」など多くの意見をいただきました。

小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略は今年度が5カ年計画の最終年度となり、町民の皆さんが「住んでよかった」と思えるまちづくりを目指し、今後もさまざまな機会を捉えて町民の皆さんのご意見をお伺いしますのでご協力をお願いします。



会議の様子

<会議委員>

(敬称略)

氏名	所属
吉田 代吉	小野町商工会
緒方 敏史	株式会社アブクマ
吉田 広一	認定農業者
二瓶 博昭	県中地方振興局企画商工部
影山 彌	郡山女子大学
伊藤 靖浩	東邦銀行小野支店
荻野 泰寛	公立小野町地方総合病院職員組合
渡辺 浩	福島民報社田村支局
富山 和明	福島民友新聞社田村支局
小針 幸雄	県立小野高等学校
岡田 聡	小野町定住コーディネーター
國分 信秋	移住者代表
舘川 栄子	子育て世帯代表
今泉 庸子	子育て世帯代表
折笠 夕子	子育て世帯代表
先崎香代子	子育て世帯代表